

バイオを学ぶ学生の目指す技師像

◎山田将太¹⁾ 井口航平¹⁾ 工藤雄貴¹⁾
長浜バイオ大学¹⁾

バイオサイエンスの総合教育を展開する本学では、1年次より実験実習が豊富で多彩なカリキュラムが用意されている。そのひとつとして2015年度に「臨床検査学プログラム(PG)」が新設され、滋賀県初の臨床検査技師養成校となった。「臨床検査技師の資格を持つバイオの専門家」を目指している点に特色がある。2019年に初めて本PGの課程を修めた学生が卒業する。そこで、2年次進級時に学内選考を経て本PGに在籍する現3・4年生(1・2期生)を対象に志望動機を中心としたアンケート調査(48名、有効回答率76%)を実施し、本学学生が目指す臨床検査技師像の考察を試みた。

本PG志望理由の回答から、約2割の学生が入学時より臨床検査技師志望であった一方、7割以上は入学後に志望したことが判明した。その理由として「国家資格が取得できること」、「医療専門職への憧れ」と続いた。バイオを学ぶために入学するも医療分野にも関心があり、職業として志望するに至ったことが伺える。卒業後の進路として、多くは病院検査室で働く臨床検査技師を希望し、それぞれが活躍する技師像を描いている。学会ではその詳細について紹介したい。